

一般社団法人 日本計量生物学会  
2024 年度事業報告（第 9 期）  
2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日

会長 服部聡  
庶務理事 寒水孝司, 田栗正隆

## 1. 学会の動向

日本計量生物学会は、16 名の理事（2024 年 1 月 1 日時点）、2 名の監事、各種委員会の運営により、2024 年度の活動を終えた。2024 年 12 月 31 日現在の会員の数は 898 名である（国内正会員 510、国内名誉会員 3、国際正会員 265、国際名誉会員 6、学生会員 105、賛助会員 9）。

## 2. 出版編纂事業

### (1) 計量生物学の発行

44 巻 2 号（原著 2, 研究速報 1, 総説 1）（3 月）、45 巻 1 号（総説 4, 原著 1, 研究速報 1）（7 月）、45 巻 2 号（総説 5, 原著 1, 研究速報 1, 訂正 1）（11 月）を発行した。

### (2) 会報の発行

144 号（4 月）、145 号（8 月）、146 号（12 月）を発行した。

## 3. 内外学界交流事業

次の大会、セミナー、講演会を開催した。

### (1) 年次大会

日程：5 月 10 日（金）、11 日（土）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：九州大学医学部 百年講堂

チュートリアルセミナー「高次元データに対するモデル選択」

特別セッション 1「異質因果効果の推定：個別化医療選択への理論と実践」

特別セッション 2「私と計量生物学」

参加者 389 名（現地 177 名、オンライン 212 名）

### (2) WNAR（北米・カナダ西海岸リージョン）年会（共催）

日程：6 月 9 日（日）～12 日（水）

会場：Colorado State University（米国コロラド州フォートコリンズ）

招待セッション「Sparse modeling for biomedical data」

### (3) 統計関連学会連合大会

日程：9月1日（日）～5日（木）（1日はチュートリアルセッションと市民講演会）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：東京理科大学 神楽坂キャンパス

日本計量生物学会奨励賞受賞者講演

日本計量生物学会シンポジウム：「感染症対策とデータ科学：COVID-19から次のパンデミックに向けて」

参加者総数 延べ 1,666 名

（チュートリアルセッション参加登録者 267 名，市民講演会参加登録者 271 名（オンライン開催のみ），大会参加登録者 1,128 名）

### (4) 計量生物セミナー

日程：12月19日（木），20日（金）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：中央大学 後楽園キャンパス 5号館

テーマ：“プラグマティック”な介入評価を統計学的観点から考える

参加者 210 名（現地 54 名，オンライン 156 名）

### (5) 計量生物学講演会

日程：3月4日（月）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：北海道大学医学部百年記念館

テーマ：Analyzing Recurrent Events in the Context of Randomized Clinical Trials

講師：Thomas Scheike（University of Copenhagen）

参加者 132 名（現地 17 名，オンライン 115 名）

## 4. 会員関係事業

### (1) 賞の授与

次の賞を授与した。

学会賞 該当者なし

功労賞 松浦 正明（帝京大学大学院）

奨励賞 尾崎 凌斗（中外製薬株式会社），濱口 雄太（旭化成株式会社）

### (2) 理事会

対面（Web）理事会（2月19日，3月6日，5月8日，8月30日，12月2日）とメール理事会（4回）を開催した。

(3) 社員総会

対面（Web）社員総会（3月6日）を開催した。

(4) 会員総会

日程：5月11日（土）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：九州大学医学部百年講堂

(5) 各種委員会

各種委員会（編集，広報，企画，試験統計家認定）を適宜開催した。

5. 試験統計家認定制度

2023年度責任・実務試験統計家 認定通知・証書授与，公表を行い，2024年度責任・実務試験統計家認定制度を開始した。試験統計家認定制度講習会（10月12日，11月9日（オンライン））を開催した。

6. 国際計量生物学会日本支部としての活動

国際計量生物学会の会報（Biometric Bulletin）にて日本支部の活動を報告した。

7. その他

(1) Web 選挙システム（i-Vote）を導入して，社員（評議員）選挙を実施した。

(2) 新社員（評議員）懇談会を実施して，会長候補者，代表理事候補者，理事候補者を選出した。

(3) IBC2024（32nd International Biometric Conference）の大会への若手会員の参加に対して奨学金の補助（2件）を行った。

(4) 会費長期滞納者への対応を行った。

(5) 第34回 日本疫学会学術総会・日本疫学会プレセミナー2024「生存時間アウトカムの因果解析 一斬った時間をリスクに戻す，反事実アプローチによる統合的な解析法のすすめ」（1月31日（水）現地会場とオンデマンド開催）を共催した。

(6) 会員管理システム「SMOOSY」を導入した。

(7) 選挙に関する細則と内規を変更した。

以上